

2018年度「博物館実習」展示 石碑秘話ヒストリア 2018 歌碑、集めました。石碑一覧

No.	氏名	題名	内容	所在地
1	森脇有紀	日本最古の和歌	素戔鳴尊が須賀の地で詠んだ歌	島根県松江市佐草町(八重垣神社)
2	卯月しおり	大伴家持 万葉歌碑	新年の気持ちを詠んだ歌	鳥取県鳥取市国府町町屋(鳥取市因幡万葉歴史館)
3	北子裕喜	矢野神山 万葉歌碑	矢野の黄葉を見て	兵庫県相生市矢野町(磐座神社)
4	塩本紗奈	山部赤人 万葉歌碑	すみれの咲き乱れる野の趣に魅せられて	兵庫県姫路市飾磨区今在家(今在家第2公園)
5	赤松由佳子	大の浦 万葉歌碑	桜井王が都を慕って詠んだ歌など2首	静岡県磐田市中泉(ワークピア磐田)
6	藤原由佳	万葉のいなみ川	旅立つ想い人へ詠んだ歌	兵庫県加古郡稲美町国安 1286 番地 55(いなみ野万葉の森)
7	金田優花	春の三笠山	楽しい桜花の宴の歌	奈良県奈良市朱雀町3丁目(近鉄奈良線高の原駅)
8	日高瑞希	有馬山と猪名の笹原	猪名の笹原の風音に託して	兵庫県神戸市北区有馬町(瑞宝時公園)
9	大平夏摘	糸の細道	道を照らしている月を見て詠んだ歌	兵庫県姫路市砥堀一区
10	村上明日香	播磨を旅して	旅のものの悲しさを詠んだ歌	兵庫県高砂市曾根町(曾根天満宮)
11	小林加奈	夢枕と西行の詩	鼓が滝の風景を詠んだもの	兵庫県川西市多田桜木(下滝公園)
12	宮平優璃	屋慶名クハディーサ	屋慶名に現存するフクギの木について詠んだ歌	沖縄県うるま市与那城屋慶名(屋慶名自治会庁舎)
13	藤田茉優	蕪村 句碑	日本の海の様子を詠んだ歌	兵庫県神戸市須磨区西須磨(須磨浦公園)
14	津々木香織	山川正宣 歌碑	桜の盛りを詠んだ歌	兵庫県西宮市小松南町(岡太神社)
15	下田愛	名滝に想いを馳せる	滝を眺めて	兵庫県神戸市中央区雲居通
16	小山智加	堀野林治 歌碑	燧灘から見える愛媛の高嶺に降る雪を詠んだ歌	香川県観音寺市有明町(琴弾公園)
17	蔵永明莉	中村憲吉 歌碑	浜辺から聞こえる妻の声を詠んだ歌	広島県尾道市西土堂町(千光寺公園)
18	高橋ひなの	鞆の浦の歌碑	鞆の浦の海を詠んだ詩	広島県福山市鞆町後地 グリーンライン
19	村瀬真優奈	谷崎潤一郎ゆかりの歌碑	疎開によって、親しんだ場所を離れる際に歌	兵庫県神戸市東灘区住吉本町(阿弥陀寺)
20	金川真子	山口茂吉 歌碑	故郷を偲んで詠んだ歌	兵庫県多可郡多可町加美区清水(多可町立加美北部体育館前)
21	平井こころ	有本芳水 歌碑	故郷の灯台に思いを寄せた歌	兵庫県姫路市飾磨区恵比酒 14(恵比酒天満神社)
22	嘉手苺光	昭和天皇 御製碑	宮古沖の風景を詠んだ歌碑	沖縄県宮古島市平良字西里(宮古神社)
23	高本有芽	与謝野晶子の歌	与謝野晶子が歌う日生の景色	岡山県備前市日生町寒河
24	藤原朱花	水原春郎 歌碑	流しびなの様子を詠んだ歌	鳥取県鳥取市用瀬町別府